

あいちのあいち

〒820-0201 嘉麻市漆生 1062-7 社会福祉法人 愛光会 統括施設長 豊嶋 和孝
 TEL 0948-42-4350 FAX 0948-42-1023
[E-mail:seijyo77@eagle.ocn.ne.jp](mailto:seijyo77@eagle.ocn.ne.jp) <http://www.aikoukai-seijyo.com/>

残暑なんて吹っ飛ばせ！待ちに待ったデイキャンプ！ さくらんぼ

さくらんぼ 井上 耕太郎

今回訪れたのは、嘉麻市内にあるキャンプ場「遊人の杜」！ここでデイキャンプを行ってきました！キャンプと言えば何よりも「飯」！そこで今回は食べたい物を全部やってみようということで「カレーライス」「ヤキソバ」「アヒージョ」「ジャガバター」「焼きマシュマロ」「フルーツポンチ」「焼き魚」等々・・・希望に挙がったものを片っ端から作りました。食後は広場を使って全員で運動！ドッジボール、バレー、キャッチボール等、普段はなかなかできない遊びを満喫。もちろんチームを組んで様々な罰ゲームも用意。罰ゲームの内容も公募し、皆さんなかなか酷な体験をしていました・・・笑（全員の前でお笑い芸人のネタを披露）。コロナ禍の影響で外出はおろか行事ですら事業所内で行うことが多い中・・・思い切って「外の空気を吸って英気を養おう！」をスローガンに事業所全員で計画を立てました。皆さんやりたいことが溜まりに溜まっていた為、全てを実行することは出来ませんでしたが・・・幸いにもキャンプ場の炊事場所や広場を貸し切りにでき、コロナウイルス等を心配することなく思いっきり発散できたと思います。まだまだ困難な日常は続きますが、少しでも変化を加えられるようこれからも新しい行事にチャレンジしようと思います！



オンライン面会

支援員 中田 大輔

コロナ禍が続き、帰省が難しい状況であり、面会を企画させて頂いた際もお仕事等のご都合で、お会いになる事が難しいご家族も居られる事にも配慮できる様にと、今回、試験的ではありますが、当法人でもLINEによるオンライン面会を実施いたしました。

今回、利用者さんの様子を拝見させて頂きましたが例えば、最初は緊張してた方も最後の方では笑顔になられていたり、直接会えない形での面会ではありますがこちらとしても企画して良かったと思っております。

また、今回の初めての経験を生かして、今後のオンライン面会についてもどの様に行っていくのか検討していきたいと思っております。



福祉工場 食事会♪

支援員 萬田 昌子

今年もコロナの影響でなかなか楽しい思い出が作れない中、少しでも楽しんで頂こうとあいにくの雨の中でしたが、志賀島の大岳荘までプチドライブ。職場とアパートの往復だけの毎日。今日は行き先が違い、楽しい気持ちになって頂けたら幸いです。そしてお料理！全16品。秋の味覚、松茸入りの土瓶蒸し、鹿児島産うな重、その他もうお腹がはち切れそうになるようなおご馳走でした！料理長さんの「うちは全て手作りなのでこの品数が出るんですよ！」のお言葉とさらにお気持ちにも大満足でした(笑)今年も残り3か月を切り、あっという間に1年が終わろうとしています。何気ない日常が早く戻ってきますように！今後も福祉工場の皆さんとコロナ対策をしっかりとしながら頑張っていこうと思います。



避難訓練

支援員 三宅 英輔

9月は秋雨前線の影響か、梅雨かと思うほど雨が降り続き、やっと晴れが続いたかと思うと朝晩と昼の寒暖差が大きく体調を壊しやすい時期となりました。幸いにも利用者の皆様は風邪を引くことなく元気に過ごされています。

9月17日に上陸した台風14号は、台風統計開始の1951年以降初めて福岡県から上陸したということでしたが、歴代の台風の被害を思い返すと、とても意外な事だと感じました。14号の勢力はあまり強くなく、学園の近隣地域では、さほど影響を受けずに済みました。

大雨や台風はニュース等で前もって把握する事で、対策や対応を計画できますが、火災と地震は予測がつきませんので、常に準備をしておくことが重要となります。

今回、9月28日に夜間の火災想定避難訓練を行いました。日中は作業場から避難場所へ逃げるので職員も避難誘導をしやすいのですが、夜間想定では利用者の皆様が各居室等で余暇を過ごされていますので、避難誘導も日中に比べると難しくなります。

実際、夜間に火災が起きた場合、少数の夜勤勤務の職員で対応する事になりますので、利用者の皆様にはベルの音が聞こえたら自主的に避難場所へ逃げてもらい必要があります。訓練は繰り返し行う事で、一人でも多くの方に自主的な避難を覚えてもらい、急がず焦らず落ち着いて行動出来ることを目的としています。特に高齢化が進んでいる学園では焦ってしまうと転倒の危険性もあります。

ほとんどの方が自主的に避難できますが、障がいのある特性によってはベルの音が聞こえてもすぐには行動できない利用者様もおられます。そのような方を把握し、避難誘導する職員の練習の場でもあります。

不測の事態に対応するには、日頃からの準備と練習を行っておくことしかできませんので、引き続き緊張感をもって災害訓練を行って参ります

歯科検診

支援員 松本 大昌

9月2日に清浄学園で歯科検診がありました。コロナ禍ということもあり、歯科医師や歯科衛生士の方はガウンにフェイスシールド、マスク、ゴム手袋の完全防備で臨まれていました。

検診時は利用者の皆様方は綺麗に整列し順番を待たれ、誰ひとり嫌がる事無く検診を終えていました。現在、学園では感染防止対策の一環として、朝食後すぐに歯磨きを一斉に行っていたのを朝の全体朝礼が終えてから各係ごとに行っています。最初は自分で出来る所は自分で磨いて頂き、ほぼ全員の方に職員が仕上げ磨きを行っています。

今回の検診で虫歯が見つかった方は後日、かかりつけの歯科医に診て頂き治療を行っています。次回の検診では新しく虫歯が見つかる事が少しでも減らせるよう、職員一同皆様の口腔の衛生管理に努めて行きたいと思っております。



お弁当の日

支援員 溝口 彰

10月12日(火)に各係昼食で、お弁当を食べました。1係は好きな駅弁、2係はレストランテ鎌倉のデラックス弁当、3係はロコホームで3種類の弁当から1つ選び頼みました。皆さんとても美味しかったと言っていました。3係の1つ1,000円のランチボックスはローストビーフやパンケーキと一緒に、かなりのボリュームでした。

「今度は、食べたことない弁当を食べてみたい」といった声も聞かれ、皆さんとても満足されていました。



キッチンカーがやってきた!

支援員 高松 智子

9月6日、7日とクレープ・ハンバーガーのキッチンカーにセルブ・福祉工場敷地内へ来て頂きました! 5月同様、皆さん事前にメニューから選んで頂き、当日キッチンカーより、出来たてを受け取りました。コロナで思う様に外出出来ない日が続き、出来立てのハンバーガーやクレープを食べる機会がなかったので、皆さん大喜び♪大きな口を開けて一生懸命食べていました!



セルフ作業場紹介

支援員 中尾 正徳

セルフ清浄で請け負う自動車部品加工の作業は、ワッシャー付けや自動車部品の組み付け、シール貼り、スリプロン塗りなど、様々な作業があり、ホープ・アース・ノアという名前の付いた3つの作業場に分かれて毎日行っています。

シールを貼る位置は決められた枠から少しでもはみ出してはいけません。紐を通す向きや表裏など間違っではいけません。などそれぞれ細かい作業手順書がありそれを守って作業を行っています。スリプロン塗りは湿度が高いと白く変色してしまうので湿度管理も必要です。

どの作業も一日中立ち作業で皆さん疲れる時もあると思いますが、一生懸命取り組み、難しい作業も不良を出すことなく出来ています。

毎日の作業を通して利用者みなさんが成長出来るようにしっかり支援して行こうと思います。



職員雑感1ル

支援員 垣内 友美

本年4月1日より、支援員として勤務させて頂いております、垣内友美（かきうち ともみ）と申します。

私は、これまで福祉施設での勤務経験が無く、勤務初日は、きちんと役に立てるだろうか、とても緊張していましたが、利用者の皆さんから、「大丈夫よ」「すぐに慣れるよ」「ゆっくりでいいよ」などと、温かく優しい言葉をたくさんかけていただきました。本当に心が救われホッとしたのを覚えていますし、今でも感謝しています。

また職員の皆さんが、利用者さんおひとりおひとりに対して、とても細やかに接してあり、何か問題点があっても、素早く臨機応変に対応しているところも、毎日勉強させられています。学園がこれまで築き上げてこられたことを引き継ぎながら、早く一人前に対応ができるようになり、利用者の皆さんが、安心して過ごしていただけるように、支援員として日々頑張っていきたいと思っています。

近年のコロナ禍の中、利用者の皆さんが懸命にいろいろな事を我慢されている姿にも感心しています。

早く以前のような日常に戻り、お出かけやイベントを楽しんだり、保護者の方々ともお会いできるようになればと願っています。

まだまだ不慣れでご迷惑をおかけする事があるかもしれませんが、今後ともどうぞよろしくお願いたします！

